



# JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 271

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



### 当面の日程

- ◎ 7月30日(土)～31日(日)  
・連合の森(中尾山)
- ◎ 8月5日(金)～6日(土)  
・平和行動 in 広島
- ◎ 8月8日(月)～9日(火)  
・平和行動 in 長崎

## 連合徳島地方委員会

# すべての働く者の処遇改善、経済好循環実現に向け

## 後期主要課題の方針を承認

連合徳島は6月28日、徳島市の阿波観光ホテルで2016年度連合徳島地方委員会を開き、執行部・地方委員など30構成組織98人が参加。2016春季生活闘争の中間まとめを行うとともに、後期主要課題の取り組み方針などを決定した。

地方委員会は冒頭、吉野副会長の掛け声で参加者全員が熊本地震で亡くなられた方々のご冥福を祈るため黙祷を捧げて開会された。熊本への募金活動とボランティア活動とともに、徳島でも起こりうる災害についても対応出来るようにしていきたいとあいさつ。議長に本地方委員(原教組)を選出し進められた。

森本会長からは、「クラシノソコアゲ応援団」2016RENGOキャンペーンを基軸として、労働相談ダイヤルや関係機関に対する要請行動などに取り組んできた。特に月例給にこだわった継続した賃上げをめ



地方委員会には、33構成組織98人が参加。議長は、森本会長。副議長は、吉野副会長。議長は、本地方委員(原教組)を選出し進められた。

議事では、島事務局長より「デフレからの脱却」「経済好循環実現」というマクロの観点に加え、働く者の処遇改善には「底上げ・底支え」「格差是正」が不可欠として運動を取り組んできた2016春季生活闘争の中間まとめ、すべての職場における「集団的労使関係構築をめざし、組織拡大を最優先課題とし、オルガナイザー育成や、構成組



森本会長団結ガンパロウ

織と連携を強め組織力の強化に取り組む方針を提案。新居会長代行からは、政府・与党の予算・政策は国民生活の現実を直視しておらず、アベノミクスの失敗においても海外の経済状況に責任を転嫁しようとする姿勢は無責任極まりない。連合徳島は立憲主義、民主主義を守るべく組合員の総力

### 第24回参議院議員選挙結果を受けて

第24回参議院議員選挙は、7月10日に投票された。選挙区選挙においては、私たちの支援した「大西そう」氏が惜敗いたしました。連合徳島が推薦決定して以降7カ月間に亘り、比例代表選挙と合わせて、連合徳島全構成組織・各地域協議会の総力でご支援いただきましたことに心から御礼申し上げます。



質疑を行う住友地方委員(自治労)

を結集し、選挙区では「大西そう」氏の必勝をめざした取り組みの確認と、民進党を全力で支援して、組織内候補者、推薦候補者の必勝への方針として、第24回参議院議員選挙特別決議を提案した。

質疑では住友地方委員(自治労)から第24回参議院議員選挙必勝決議案に賛

## 生活者が主役の政治を

— クラシノソコアゲキャンペーンを展開 —



連合徳島は、「クラシノソコアゲ応援団」2016RENGOキャンペーン」第3ゾーン(5月～7月)の諸活動を展開しており、6月13日には徳島駅前街頭演

説を行い、45人が参加した。連合徳島森本会長は「保育現場の不安定雇用・介護・医療で働く人が過酷な職場環境問題を抱えている。専門職として相応しい給料をもらい、ワークライフバランスをしっかりと確保できる抜本的な対策を講じるよう、国や政治に対して強く求めている。処遇改善をきっかけに、人手不足から悪循環を断ち切らなければならぬ。生産性を高め、労働分配率をアップさせ、最低賃金の引き上げなどにより、労働者の4割にのぼる非正規労働者の処遇改善を図り、正規雇用への転換で安定した雇用を実現することが重要である。」と述べた。



来徳した新谷連合副事務局長は、アベノミクスの問題点について街頭で訴えた。



県民にビールを配布

することを表明した。安倍政権になってから実質賃金は低下を続け、国内消費は2年連続マイナスとなった。日銀はジャブジャブの金融緩和からマイナス金利政策への大きな転換点を迎えた。アベノミクスは限界に達している。これ以上継続しても、国民生活を豊かにするどころか、さらなる貧困や格差の拡大をもたらしかねない。安倍政権の暴走をこれ以上許すわけにはいかない。私たちの権利を取り戻すために、今度の参

議院議員選挙で大西そう氏を全力で支援し、徳島から政治のうねりを作っていただきたい。ソコアゲこそ、最大の経済対策だ。」と強く訴えた。

なお、その他弁士として、第24回参議院議員選挙で徳島・高知合区から立候補の弁護士大西そうさん、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会川越会長、連合徳島議員ネットワーク代表庄野県議から立憲主義の回復、若者貧困問題の解決、防災

### 女性委員会 労働局要請

## 女性活躍推進法に基づく行動計画の提出を要請

連合徳島女性委員会は、男女が共に均等な機会と待遇で、仕事と家事・育児・介護を両立しながら働き続けられる社会を創るため、6月21日労働局雇用環境・均等室長要請行動を行った。下女性委員長をはじめ



要請書を提出する下委員長(左)

女性委員会役員7名が参加した。意見交換会では、均等室に寄せられる相談内容や連合全国一斉働く女性の相談ダイヤル内容について共有をはかった。また女性活躍推進法に基づき中小において行動計画の提出を

成の立場から、安倍政権による非正規雇用の増加、求人倍率増加、税収の水増しなどをなくするため構成組

織が一つとなって選挙に望んでほしいと要望が出され、全体の拍手で全ての議案が承認された。最後に森

本会長の「参議院議員選挙すべての連合推薦候補者の当選をめざして団結ガンパロー」で閉会した。

強く要請した。今後新たに改組された雇用環境・均等室の周知に務めるとともに、相談・指導・支援体制の連携強化を申し入れた。

連合徳島  
地域ユニオン

# 港運送労働組合を結成

6月19日、連合徳島会議室で連合徳島地域ユニオン・港運送労働組合結成大会を開催した。結成大会には、港運送で働く仲間および連合徳島から17名が参加した。



島執行委員長から森執行委員長に組合旗を贈呈

「連合は、全国で686万人余り、徳島県では、3万3千弱が加盟している日本最大の労働組合の連合体である。私たちは、社会の格差に歯止めをかけ、信頼と連帯感にあふれ、次代を担う子どもや若者が希望と安心の中で働き・くらせる社会をつくりたいと考えている。現在、目指すべき社会像として『働くことを軸とする安心社会』を提起し、その実現に向けて取り組んでいる。私たちは、これからも、社会の公正を追い求め、組合員だけにとどまらず、すべての働く人々とその家族のくらしのために取り組んで行



森執行委員長団結ガンバロウ

く。」とあいさつ。徳島県中小労働対策本部宮本議長から「今の運送業は人手不足、低賃金、長時間労働で働いている現状を解消しなければならぬ。同じ業種で働き、同じ志を持っている労働者が協力・団結し業界全体を発展させていかないといけない。」とあいさつ。また、全国一般徳島地方労働組合原田執行委員長から「労働三権（団結権、団体交渉権、団体行動権）は憲法で保障されており、労働組合は、労働者が団結すれば、いつでもどこでも自由につくれる。個人で会社に交渉しても相手にしてくれ

連合徳島・公務労協

## 公契約条例早期制定に向け、セミナーを開催



勝島行正主任研究員が講演

連合徳島、公務労協（良質な公共サービスの確立を求むる徳島県連絡協議会）を軸に構成している公契約条例・公共サービス基本条例の制定をめざす徳島県実行委員会は6月12日、三好市保健センターで、「公契約条例早期制定に向けたセミナー in 三好」を開催し、各構成組織・地協・フレッセから約80人が参加した。

冒頭、連合徳島森本会長から主催者あいさつ。その後、（公社）神奈川県地方自治研究センター主任研究員勝島行正さんが「三好市公契約条例の早期制定に向けて」について講演。全国的に公



各構成組織・地協・フレッセから80人が参加

契約条例の制定や検討が広がりをみせている中で、三好市の公契約条例の制定に向け、条例の意義や条例の作成（制定）、また作成（制定）してから考慮すべきことなど、実践的・実務的な課題を理論的に講義していただいた。

## あらゆる差別撤廃に向け、人権教育・啓発活動を要請

### 就職差別撤廃労働局要請

部落解放徳島地方共闘会議は、6月9日合同庁舎において7名参加の下、就職差別撤廃要請行動を行った。はじめに森本議長より「行政書士等による戸籍等大量不正入手事件、電子情報化された『部落地名総監』発覚

など、差別身元調査の根深さを示す事件が次々と明らかになっていく。このような状況をふまえ、部落解放共闘会議は徳島県と全市町村要請行動を行った。就職差別を防止するため労働局としても取り組み強化をお願いしたい。」とあいさつした。



森本共闘会議議長が労働局に要請書を提出

意見交換の中では県内企業のN社が、家族構成・本籍地・健康状態を記入必須条件とした書類を未だに使用しているとの事で、昨年共

同会議に報告した内容と差異があり、再度N社へ調査指導を要請した。最後に、就職差別をはじめ、あらゆる差別撤廃に向けた人権教育・啓発活動の一層の取り組み強化を求める要請書を提出し要請行動を終了した

から31人が参加した。総会は鎌谷副理事長の開催あいさつ後、終理事を議長に選出した。冒頭、新居

理事、連合徳島森本会長より来賓あいさつを受けた。田北専務理事が「2015年活動経過報告、2015年度収支決算書、会計監査報告（石生監事）、2016年度事業計画（案）、2016年度予算（案）」を提案し、

加盟会員から31人が参加

## NPO法人 徳島労働安全衛生センター 第15回総会



第8陣のみなさん

6月28日、徳島市の阿波観光ホテルにおいて、NPO法人徳島労働安全センター第15回総会が開かれ、会員

から31人が参加した。総会は鎌谷副理事長の開催あいさつ後、終理事を議長に選出した。冒頭、新居

理事、連合徳島森本会長より来賓あいさつを受けた。田北専務理事が「2015年活動経過報告、2015年度収支決算書、会計監査報告（石生監事）、2016年度事業計画（案）、2016年度予算（案）」を提案し、

熊本県を中心とする九州地震に際し、亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに負傷者の皆様、被災された皆様に心からお見舞い申しあげたい。

以下、2016年6月17日（金）から6月23日（木）までの、連合災害ボランティア第8陣の活動報告とする。連合四国ブロックは、BC（ベースキャンプ）運営スタッフとして連合香川から西尾耕一（副事務局長）、連合高知から白木政行（私鉄総連書記次長）、連合徳島は私の3名が参加となり、6月17日に熊本県の連合災害ボランティア山鹿ベースキャンプ（恵みの里）へ入り、第7陣のスタッフからの引き

6月20日（月）天候は悪く警報も発令され回復は見込まず、益城ボランティアセンターにて受付・作業内容の説明を受けた。6月21日（火）は益城集積所で作業となり粘土状態の土の中からコンクリート・瓦・ガラス・木を手で仕分

6月22日（水）も益城集積所で全員の作業となり、（ガラス・畳、木材類、プラスチック類、ソファ、椅子、家電、金属類）の3グループで分担し作業をした。6月23日（木）はボランティア参加メンバーに挨拶をして帰路についた。

6月18日（土）朝、第7陣の解団式が終わりバスを見送った。6月19日（日）第8陣が到着、オリエンテーションで装備品と安全衛生対策等を私が、行動管理等を西尾耕一（連合香川）より、生活のルールと整理・整頓を白木政行（連合高知）よりそれぞれ説明した。

6月22日（水）も益城集積所で全員の作業となり、（ガラス・畳、木材類、プラスチック類、ソファ、椅子、家電、金属類）の3グループで分担し作業をした。6月23日（木）はボランティア参加メンバーに挨拶をして帰路についた。



益城集積所で粘土状態の土からコンクリート・瓦・ガラス・木を手で仕分け